

日本社会関係学会第3回研究大会・研究報告賞の選考結果について

日本社会関係学会第3回研究大会委員会

日本社会関係学会第3回研究大会・研究報告賞の選考結果についてお知らせします。

今回は18件の応募があり、前回の12件から大幅に増加しました。

また、応募報告要旨の多くがフルペーパーに近い詳細な研究成果報告でした。

大会運営委員会において、応募された18報告を厳正に審査した結果、下記のとおり、1件の報告に対して最優秀報告賞を、また4件の報告に対して優秀報告賞を授与することといたしました。

18報告のうち奨励賞の対象になる学生会員のみによる報告は2件でしたが、奨励賞については該当なしとしました。

受賞された報告者の皆様、誠におめでとうございます。

最優秀報告賞 1件

関根仁博「近隣ソーシャル・サポートはコロナ禍のストレスを軽減するのカーナガハスタディ」

優秀報告賞 4件

井手一茂・上野貴之・辻大士・渡邊良太・斉藤雅茂・木村美也子・近藤克則「通いの場への参加とその後のソーシャル・キャピタル：福岡市におけるふれあいサロン参加者名簿を用いた縦断研究」

熊澤大輔・田村元樹・井手一茂・近藤克則「道の駅利用とソーシャル・キャピタル関連指標の関連：3年間の縦断研究」

阿部紀之・井手一茂・方恩知・近藤克則「互助共助コミュニティ型資源回収ステーションの利用と要支援・要介護リスクの変化：1年間の縦断研究」

竹内寛貴・井手一茂・河口謙二郎・小林周平・花里真道・近藤克則「高齢者における近隣の公園や歩道と社会参加との関連：JAGES2013-2016-2019 縦断研究」